

項目	環境保全を重視した森林施策の展開	NO	1
事業名	1-1 荒廃森林緊急整備事業 1-2 森林資源再生事業 1-3 森林資源循環利用促進事業 1-4 広葉樹林健全化促進事業		
事業費	530,225 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1-1 荒廃森林緊急整備事業

荒廃の恐れのある人工林や病害虫等により荒廃した里山林のうち、水源地域の森林や集落に近い森林など、県民生活に密接に関わり緊急度の高い森林を整備する。

- 1 人工林整備 手入れが不十分で荒廃の恐れのある人工林の整備
 - ・人工林を適正に維持、管理の推進(針葉樹林維持型)
 - ・広葉樹との混交の推進(針広混交林型)
- 2 病害虫等被害で活力が低下した里山林の再生(里山林整備型)

・平成30年度実績見込 1,120 ha

1-2 森林資源再生事業

国庫補助事業に連携して、再造林の経費に対して支援する。

・平成30年度実績見込 70 ha

1-3 森林資源循環利用促進事業

1 ラミナ等利用促進事業

間伐により発生した木材について、ラミナ(集成材)や合板、製紙・ボード用チップ等の用材として工場に出荷した場合に一定額を助成する。
(ラミナ等用材：400円/m³)

2 バイオマス燃料利用促進事業

間伐等により発生した木材のうち低質材について、木質バイオマス燃料のチップやペレットの原料として工場に出荷した場合に一定額を助成する。
(間伐材の熱利用：2,000円/m³、間伐材の発電用：500円/m³、
森林経営計画認定森林の林地残材(熱利用・発電用)：500円/m³)

・平成30年度実績見込	ラミナ等利用促進事業	27,430 m ³
	バイオマス燃料利用促進事業	20,870 m ³
	合計	48,300 m ³

1-4 広葉樹林健全化促進事業

ナラ枯れ被害木を含む広葉樹林を伐採し、害虫の駆除と木材の有効活用を図るとともに、森の若返りによる森林の再生を図るため、広葉樹林の伐採・搬出を行なう森林所有者や素材生産業者などに、経費の一部を助成する。

・平成30年度実績 広葉樹林の伐採・搬出支援 1,400 m³

項目	環境保全を重視した森林整備の推進	NO	1-1
----	------------------	----	-----

事業名	荒廃森林緊急整備事業		
事業費	480,758 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1 目的

長期に管理放置され荒廃した森林の整備

森林整備面積 11,600ha (平成29年度～平成38年度)

2 事業概要

荒廃森林緊急整備事業の実施

荒廃のおそれのある人工林や病害虫害等により荒廃した里山林のうち、水源地域の森林や集落に近い森林など、県民生活に密接に関わり緊急度の高い森林を整備する。

- (1) 人工林整備 手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備
 - ・人工林を適正に維持・管理の推進(針葉樹林維持型)
 - ・広葉樹林との混交の推進(針広混交林型)
- (2) 病害虫等被害で活力が低下した里山林の再生(里山林整備)

・平成30年度整備実績見込み 1,120.4 ha (計画: 1,160 ha)

単位: 面積 ha

地区名	針葉樹林維持型		針広混交林型		里山林整備		計	
	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積
村山	27	234.7	1	0.2	18	81.8	46	316.7
最上	20	183.5	1	0.5	7	12.0	28	196.0
置賜	13	26.3	-	-	9	119.0	22	145.3
庄内	12	191.4	-	-	15	271.0	27	462.4
県計	72	635.9	2	0.7	49	483.8	123	1,120.4

3 成果と課題

【成果】

1,160haの整備計画に対し、1120.4haの整備実績(計画比96.6%)となる見込みである。そのうち国庫補助を活用した面積は243.4ha(針葉樹林維持型 243.4ha)、人と動物の共存林及び森林景観整備は76.5haの整備実績となる見込みである。

【課題・対応】

今後も引き続き、地元説明会の開催や広報誌等の配布を通じて、森林所有者等県民の意識の高揚を図り、区域の確定や協定締結を円滑に進め、やまがた緑環境税による森林整備を推進する。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 村山総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】				
整備箇所	西村山郡西川町大字入間 地内			事業主体	山形県
整備面積	3.2ha	樹種	スギ	林齢	49～50年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密に生育した針葉樹林で、著しく生長の悪い不良木や枯損木も目立つ状態であった。</p> <p>このため、本事業により適正な密度となるように間伐などを行うことで、実施後は、混み合っていた林内が明るくなり、健全な成長が期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・枝打ち・森林作業道 】				
整備箇所	西村山郡西川町大字間沢 地内ほか			事業主体	西村山地方森林組合
整備面積	32.4ha	樹種	スギ	林齢	16～60年生
整備内容	<p>当該箇所は、県内有数の森林資源を有する地域であるが、下刈りや除伐以降の手入れがあまり行われず、長期にわたり放置された林分も見受けられた。</p> <p>このため、本事業と森林施業直接支援事業も活用しながら、適正な立木密度となるように間伐、枝打ちを行い、森林の公益的機能の維持増進を図るとともに、森林作業道を開設し間伐材の有効活用も行った。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	最上郡金山町大字中田 地内 ほか			事業主体	山形県
整備面積	30.0ha	樹種	スギ	林齢	19～48年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の手入れが遅れ、過密に生育したスギ林であり、著しく成長の不良な木が目立つ状態であった。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるよう間伐等の手入れを行うことで、今後は森林の持つ公益的機能の維持増進が期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	最上郡最上町大字満沢 地内			事業主体	山形県
整備面積	39.1ha	樹種	スギ	林齢	25～50年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐や除伐といった手入れが植栽後から行われておらず、過密に生育したスギ林であり、全体的に成長の不良な木が多かった。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるよう間伐等の手入れを行うことで、今後は森林の持つ公益的機能の維持増進が期待できる。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐 】			
整備箇所	長井市大字川原沢	地内	事業主体	山形県
整備面積	0.4ha	樹種	スギ	林齢
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、林分がうっ閉し、造林木の肥大成長の低下と下枝の極端な枯れ上がりが発生していた。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるように間伐を行い、スギの成長促進と森林の公益的機能の維持増進を図った。</p>			



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】			
整備箇所	長井市大字平野	地内	事業主体	西置賜ふるさと森林組合
整備面積	5.0ha	樹種	スギ	林齢
整備内容	<p>当該箇所は、間伐等の施業が適期に行われなかったため、造林木が過密のまま長期間放置され、被圧木や枯損木が目立つ状態となっていた。</p> <p>そのため、本事業と森林施業直接支援事業を活用し、適正な密度となるように間伐を行い、森林として公益的機能の維持を図るとともに、個人所有森林を集約して森林作業道を開設、間伐材を搬出して資源の有効活用も行った。</p>			



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	鶴岡市菅野代 地内			事業主体	温海町森林組合
整備面積	25.0ha	樹種	スギ	林 齢	30～58年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐が適期に行われなかったため、造材木が過密に生育し、著しく生長の悪い不良木や枯損木も目立つ状態であった。</p> <p>本事業において間伐を行うことで、健全な森林に生育するとともに、森林作業道を整備することにより今後も適正な管理が継続的に行われ、公益的機能が持続的に発揮される森林になることが期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	酒田市上青沢 地内			事業主体	有限会社遠田林産
整備面積	10.2ha	樹種	スギ	林 齢	50～59年生
整備内容	<p>当該箇所は、長期に渡って放置されたため、雑木の侵入もあって林内が過密な状態であり被圧木や枯損木が目立つ状態であった。</p> <p>本事業において間伐を行うことで、健全な森林に生育するとともに、森林作業道を整備することにより今後も適正な管理が継続的に行われ、公益的機能が持続的に発揮される森林になることが期待できる。</p>				



整備前



整備後

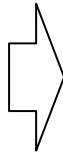
やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 村山総合支庁

整備区分	里山林整備 【 単木的整備 】				
整備箇所	尾花沢市大字延沢 地内	事業主体		山形県	
整備面積	4.61ha	樹種	アカマツ、ザツ	林齢	50～85年生
整備内容	<p>当該箇所は、アカマツと広葉樹の林であるが、枯損木の増加により荒廃し、天然更新が難しい状態であった。</p> <p>このため、本事業により枯死木や枯死に瀕した病害虫被害木等の伐倒除去を行うことで、下層植生及び高木性広葉樹の生育を確保し、荒廃した里山林の健全化と居住環境の保全を図った森林となることが期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 (間伐・下刈) 】				
整備箇所	山形市大字下東山 地内	事業主体		山形市	
整備面積	1.30ha	樹種	スギ、ザツ	林齢	4～40年生
整備内容	<p>山形市では、これまで下刈り、抜き切り等の整備は殆ど行っていない、立木の成立本数も多く、過密状態であった。</p> <p>林内が暗く、猿やイノシシ等の野生動物が身を隠す空間となり、田畑及び住宅周辺に出没することが、多々あり、農作物被害に悩まされている。このことから、当事業を活用して、人と動物との共存を図る森林緩衝帯（バッファゾーン）の整備を森林で実施した。</p> <p>これまで整備した箇所での効果として、野生鳥獣による被害の軽減や目撃情報の減少などの意見が寄せられている。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	最上郡最上町大字黒沢 地内 ほか			事業主体	最上広域森林組合
整備面積	6.0ha	樹種	スギ	林齢	55年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐や除伐といった手入れが植栽後から行われておらず、過密に生育したスギ林であり、全体的に成長の不良な木が多いであった。</p> <p>そのため、やまがた緑環境税を活用して、適正な密度となるよう間伐を行うことで、今後は森林の持つ公益的機能の維持増進が期待できる。また、間伐により生産された丸太は、地元の製材工場等へ搬出した。</p>				

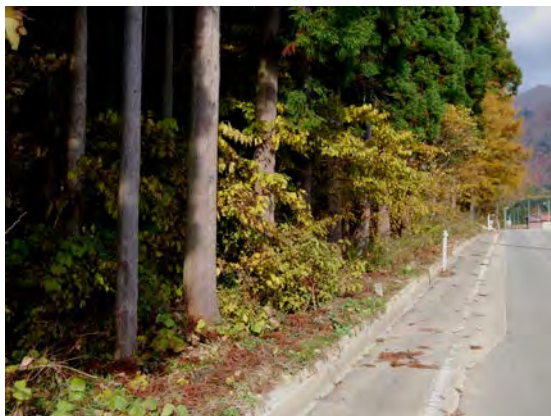


整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 (間伐・下刈・つる切り) 】				
整備箇所	最上郡最上町大字向町 地内 ほか			事業主体	最上町
整備面積	5.4ha	樹種	スギ	林齢	10~50年生
整備内容	<p>人家の周囲や幹線道路沿いのうち、人の手が入らず人里と野生動物の生息域の境界があいまいになっている箇所を中心に、林内の下草の刈払い、枯損木の伐採等を行い、見通しのよい森林にすることで、緩衝帯としての機能を発揮できるようにした。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 置賜総合支庁

整備区分	里山林整備 【 単木的整備 (松くい虫・ナラ枯れ被害木処理) 】				
整備箇所	米沢市大字古志田	地内	事業主体	山形県	
整備面積	27.7ha	樹種	アカマツ・ナラ	林齢	35~90年生
整備内容	<p>当該箇所は、『愛宕山』として市民にも親しまれている広葉樹二次林だが、数年前からマツクイ・ナラ枯れ被害等による枯損木が急増し、このまま放置すれば倒木等による二次被害が懸念される状態だった。</p> <p>そのため、本事業により森林病虫害等による枯損木の抜き伐り及び集積を行い、森林環境の保全と里山林の早期再生を図った。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 森林景観整備 (刈刈) 】				
整備箇所	西置賜郡飯豊町大字手ノ子	地内	事業主体	飯豊町	
整備面積	14.0ha	樹種	ザツ	林齢	5~10年生
整備内容	<p>当該箇所は、幹線道路沿いで県民の目に付きやすい場所で、雑草木やつる性植物が密生し景観が悪化している状態だった。</p> <p>そのため、本事業により刈払いを実施し、森林景観の保全を行った。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 庄内総合支庁

整備区分	里山林整備 【 単木的整備 (松くい虫被害木処理) 】				
整備箇所	酒田市宮海 地内 ほか			事業主体	山形県
整備面積	87ha	樹種	クロマツ	林齢	56~111年生
整備内容	<p>当該箇所は、海岸前線部のクロマツ林であるが、松くい虫被害木や手入れ不足による枯損木が増加し、飛砂防備効果の発揮が懸念されていた。</p> <p>このため、本事業により病害虫被害木等の伐倒除去を行うことで、荒廃した海岸林の活力再生と居住環境の改善を図った。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 森林景観整備 (除伐、下草刈り) 】				
整備箇所	遊佐町上蕨岡 地内			事業主体	遊佐町
整備面積	1.0ha	樹種	スギ	林齢	49~56年生
整備内容	<p>当該箇所は、主要地方道沿線のスギ林で、被圧木が目立ち、灌木等が繁茂するなど林内は過密な状態で、景観が著しく悪化しており、健全な森林環境の維持が困難な状態であった。</p> <p>このため、スギの除伐、下草刈りを実施し、景観の保全を図った。</p>				



整備前



整備後